(別添資料1

支援プログラム

事業所名 One step smile 東三国教室

作成日 6 年 11 月 15 日

法人(事業所)理念		『One step smileにまた行きたい!!』とお子様が思ってくれる事業所をすべての職員で造る		
<b>公八</b> (尹未四)				
支援方針		お子様やご家族にとって楽しい場所、安心できる場所を提供する。 お子様の各個人に合わせた目標をアセスメントをもとに作成し、お子様のペースに合った無理のない療育をしていくことで身辺自立を目指していく。 公園などの屋外の活動を通して、四季折々の環境に触れ合う機会を作り、その中で思考力や想像力の向上を目指す。また、集団活動でのルールやマナーも身に着けていけるようにする。		
営業時間		9 時 00 分から 18 時 00 分まで <mark>送迎実施の有無</mark> あり なし		
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	来所持は手洗いを必ず実施、検温を実施することで各個人の健康を把握する。 来所時からの手洗い、荷物の整理、連絡帳の提出、個別活動(宿題等)を行う習慣をつける。 日常生活を自立して送ることができるよう生活スキルの獲得を支援する。		
	運動・感覚	療育活動の中で、微細運動や粗大運動を意識した活動を取り入れ、姿勢や動作の向上を目指す。 公園などの屋外活動ではお友達との鬼ごっこやボール遊びなどの遊びや公園内の生き物や四季の植物などに触れることで想像力や思考力などの育成を目指す。		
		1日の流れや予定をホワイトボードに掲示して、曜日や時間の概念の習得を促す。 絵カードや声掛けによる先の行動予測したり、行動の切り替えをスムーズに行えるようにする。 偏食や食事マナーの向上を目指す。		
	言語 コミュニケーション	『ありがとう』、『ごめんなさい』、『こんにちは』などの言葉を習慣化させる。 他者に伝えられるように語彙力を増やし、自己表現力の向上を図る。 他者との関係の中で、相手が嫌がるようなことを言わない、行わないことでコミュニケーション能力の向上を図る。		
	人間関係 社会性	余暇時間は個人の意思を尊重し、個々の遊びや集団遊びなど自由に過ごす時間を提供する。その中で、集団遊びが苦手な児童がいた場合、1人遊びから平行遊びや連合遊び、協同遊びにつ ながるように必要に応じて職員が関わっていく。 集団遊びや外出、イベントなどを通して、集団でのルールやマナーを学び、他者との関係性を築く。		
家族支援		保護者様やそのご家族の支援のために、定期的に面談を実施しており、必要に 応じてご自宅への訪問や事業所での面談を適時行っております。 <b>移行支援</b> お子様の成長やライフステージを見据え、ご本人で 保護者会も定期的に行っております。	やご家族の希望する移行	
		お子様やご家族を中心とした関係各所(学校、相談支援事業所、他事業所、病院など)との連携を構築し、お困りごとがすぐに相談でき、安心して暮らせるよう支援していきます。    お子様やご家族を中心とした関係各所(学校、相談支援事業所、他事業所、病職員の質の向上   別に1度の法人内での全体会議や全員参加の動画研修を取りたまた、社内外の研修への参加や資格取得を積極的に勧めている職員会議や全体会議において他事業所のヒヤリハットや問題に指しております。	ます。	
主な行事等		イベント … 月1回開催 夏休み … 水遊び 【イベント内容】 誕生日会、科学館、プラネタリウム、施設見学、公園、買い物など その他 ハロウィンイベント、クリスマスイベント、初詣		